

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 2023年4月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準以上のスペースを確保し、子どもが快適に、安全に過ごせるように配慮しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所内は全て段差がない構造になっています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			今後もしっかり取り組む予定です。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎月発行のばらそる通信で、自己評価表のホームページでの公開をご案内しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			苦情解決についての第三者委員を設置しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			自社研修、児童部会、他機関の研修への参加をしています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントの時間を十分に取るように配慮しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを標準化して使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者が活動内容を決め、それを職員で検討・共有しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節やイベントの活動を取り入れるようにしています。子どもと気持ちの交流をしながら決定しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			毎日、支援開始前のミーティングで活動と個別の課題について職員間で話し合い設定をしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別課題と集団活動時の課題の両方の視点から個別支援計画を作成し、それを職員間で共有しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動前にミーティングを行い、活動内容、個別対応の必要性がある児童への担当を決め、活動中の留意点について確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動終了後ミーティングを行い、支援の振り返りと新たな支援方法の検討を行っています。その日いなかったスタッフにも伝達がしっかり出来るようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			正しく記録をとれているか、児童発達支援管理責任者が確認・改善をするようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一回は必ず計画の見直しを行うようにし、必要に応じて細かい計画の変更も行うようにしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインの総則を職員全員に読むように統一しています。活動時には参考にしながら支援を行っています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者と必要に応じて療育現場で最も関係が来ているスタッフが同行し、会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時や電話連絡、保育所等訪問支援を活用するなどして学校との情報共有を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、受け入れ予定はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援管理責任者が電話や必要に応じて直接話をしながら、就学前の利用機関との情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			担当者会議の中で、それまでの支援内容等を提供しています。また法人内や交流がある事業所とは担当者会議以外でも直接話をして情報を伝えるようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			個別の連携や、児童部会への参加をしています。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			尾道市の自立支援協議会児童部会の委員として活動をしています。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話連絡により日頃の子どもの様子を伝えるようにしています。また、保護者の方のニーズを踏まえて、支援計画を作成しています。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○			個別にて行っています。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用を始める前に重要事項説明書や契約書の説明を通して運営規定、支援の内容、利用者負担等について伝えています。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、子育てや障がいについての相談に応じています。必要に応じて医療機関の受診同行や意見書の作成を行っています。
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			入り口に苦情解決についてまとめた文書を貼っています。苦情解決責任者、担当者を記載し、第三者委員についても記しています。
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、ばらそる通信を発行しています。
	33	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護ガイドラインに沿って進めています。
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて目でもわかるように紙に書いたりタブレットを使い、情報伝達をしています。
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を定期的に行うようにしています。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内の虐待防止委員会へ職員が所属し虐待の防止を徹底しています。また管理者が虐待について研修を受けています。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			「身体拘束を行わない」という方針のもと職員の人員配置や専門性の向上を整えています。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書を全員で共有し、対応をしています。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットについて全職員で共有できるようにしています。

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%			個室も多く用意されている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	85%	15%		職員さんの異動が多い。良い職員さんが多いので子どものためにも異動は控えてほしい。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%			
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	85%	15%		新型コロナウイルス感染症の影響で活動に制限が多すぎた。
保護者への説明等	6	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			
	7	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			
	8	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			新型コロナウイルス感染症の影響で面談が出来ない事が多くあった。書面での郵送やメールでの対応をしてもらった。
	9	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	10	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			
	11	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			ぱらそる通信が発行されるのを家族全員が楽しみにしている。
	12	個人情報に十分注意しているか	100%			
満足度	13	子どもは通所を楽しみにしているか	95%	5%		大好きな職員さんと遊ぶのを楽しみにしています。
	14	事業所の支援に満足しているか	100%			コロナが気になるので、職員さんの中でも体調が悪いのかなと気になる人がいた。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。